

高浜町長 野瀬 豊 様

高浜町を憂える一町民

匿名で書く非礼をお詫び申し上げます。この町の空気を知っているものにとっては名前を明らかにすることに大きな不安を感じますので、あしからず、ご了解ください。

私は今回の高浜町のガレキの広域処理に対して、大変不安があります。そして、周りの子供を持つ親、お年寄り、年配者、若い方、それぞれに不安を感じています。

しかし、声を上げる事が出来ません。なぜなら、第一に高浜町長、あなたの決定事項である事。次に、地域の代表者が先に同意している事。この順番で物事が進んでしまうと、私たちは何も言えなくなります。そして、疑問に思い、考え、その事を伝えるだけで、町の反対派ととられ、表立って話をする事がしにくくなり、ここでの生活が、送れなくなることにつながります。

更に不安の要因は、町からの説明の内容です。国の新しい基準にならい、「安心です、安全です、ご理解下さい。」の繰り返しです。私は、その安心、安全という説明が、不安なのです。数値が低いからとか、基準値以下だから、安心と言われても、「我慢して下さい」と言われている様に感じます。

先日、試験焼却が行われました。私を含め家族全員が体調に変化がありました。特に、妻と子供がひどく、頭痛、腹痛、倦怠感で、寝込んでしまいました。日曜日の夕方ごろから、妻も子供も、急に体調が悪くなりました。妻は、「風邪ではない気がする」と言っています。2日ほどで、何かが抜けたように回復しました。焼却との直接の関係は分かりませんが、別の理由も考え難いです。これから、本焼却で1年間も続くかと思うと、恐怖を感じます。そして、身を持って瓦礫焼却の危険性と、数値では測れない事が分かりました。

私達は、この問題に対し、関心を持つ事、それから勉強して判断をするという時間を与えて頂けませんでした。全て決まり、国からの正式な要請後の住民説明会。この決め方は、フェアでは、ありません。そして、声の上げられない状態にして、物事が進むのも同様です。

このガレキ受入れについて、高浜町から「町民の一定のご理解が得られた」と発表されました。しかし、その中には、この事自体を知らない、良否の判断材料が無い、反対が言えない、の3点も含まれていると思います。

今回の問題は、色々つつじつまが合わない点や、環境や健康に対して、グレーの部分が、相当あります。しかし、一番重要なのは、だれも責任を取りようの無い、負の遺産が必ず残るという事実です。

一人の高浜町民としての気持ちを書かせていただきました。意のあるところを汲んで頂ければ幸いです。

2012年11月8日